

岐阜駅改札口内のエレベーター一基完成！！

岐阜市身体障害者福祉協会 第6支部
白井 隆雄

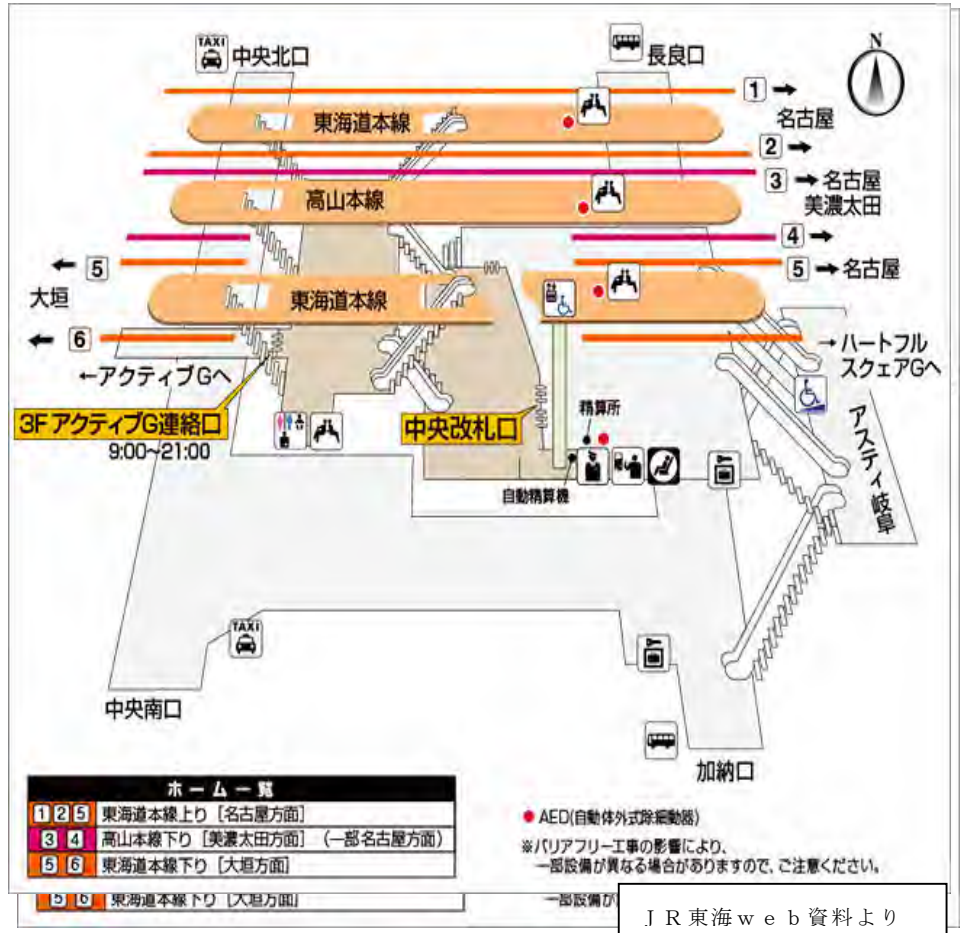
過日、岐阜市身体障害者福祉協会事務所に行った折りに、

「岐阜駅改札口内にエレベーターが設置されたことを、報道機関から取材したいと協力要請があったので協力して貰えないか？」

と、局長さんから話があり、以前からバリアフリーに取り組んできた私にとっては、願っても無いチャンス！、即快諾。しかし、残念ながら実現しませんでした。

身障協会が、設置の働きかけていたこともあり、帰ってから駅の情報集めてみると、岐阜県・岐阜市も取り組んでおり、岐阜市の「JR 岐阜駅周辺バリアフリー基本構想」という資料を見つけました。

(<https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1010768/1010775/1010776.html>)



今までのエレベーター			
	東海道線上り (北)	高山線 (中央)	東海道線下り (南)
一階			
二階			

岐阜駅は、新しく建て直された時、障害者グループが「エレベーター設置を」と、

活動していたのを、新聞記事で読んでいたことを思い出しました。

現在の岐阜駅は、改札口は二階にあるため、車いすの利用者は、二階に上がるエレベーターには、二階に上がる操作ボタンしかありません。

二階にはホームに上がるエレベーターが三基設置されていますが、いずれも、改札口外に設置されています。改札口を入るとすぐに階段があり、車いす利用者には、利用できませんでした。利用する時は、改札口の駅員さんに依頼してスロープを用意してもらい、一緒にエレベーターのところに行き、操作盤の鍵を開けてエレベーターを動かして貰ってホームに上がり、列車にスロープを設置し乗車まで付き添ってもらい、降車駅に連絡してスロープを用意してもらうお願いをしていました。

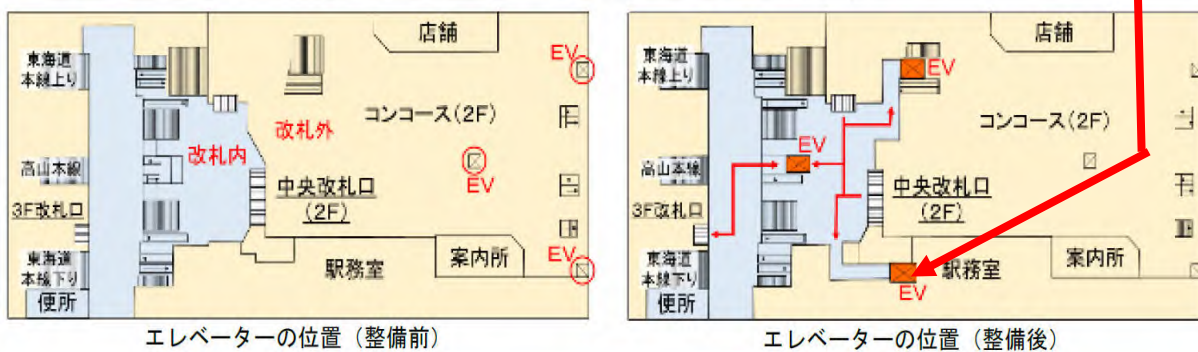
いろいろ調べてみると改修の情報がいろいろ分かってきました。

次の図は、J R 東海の w e b で見つけた改修計画の資料に掲載されていた物です。

それによると「東海道本線上下線、および高山本線のホームへ移動するための車いす対応エレベーターを改札内に各ホームに1基ずつ設置。

2020年7月 工事着手。2023年度末 エレベーター(3基)供用開始。」

今回、完成したのは東海道線大垣方面(下り線)の一基です。



J R 東海 w e b 資料より



以前の中央改札口→今の改札口 (左の駅員さんの詰め所が総ガラス張り)

そんな折、岐阜駅を利用して大津市へ出かけた車いすの人がいることを聞き、問い合わせしてみました。新しく設置したエレベーターを利用したと。メールでやりとりして

、書いてくれた内容が以下の通りです。（本人の了解得て転載）

「こんばんは。はい、先週の土曜日に大津に行って来ました。自動改札の側に設置された、「裏が白色の切符・車椅子をご利用の方」と書かれた自動ドアを通過して、駅員さんに切符を見せて行き先を伝えて、改札内のエレベーターでホームまで上がりました。でも、私がおその日に改札内でエレベーター見たのは一機だけで（5番線6番線のホーム行き）ほかのホーム行きのエレベーターも改札内に出来てるかどうか解りません。

エレベーター内は奥行きが広く扉も前後にあるので、乗った向きのままで降りられます。ちなみに帰りは従来の改札外のエレベーターを案内されました。時間が夜遅かったからなのか、そのまま一階まで降りられるからなのかはわかりませんが。そうですね。私は切符を窓口で買って、改札のところで駅員さんに切符を見せてスロープをお願いしました。自動改札機を通らず切符を直接駅員さんに見せるという点も、従来と同じですね。」

新しく出来たエレベーターは二～三階の移動用なので一階には降りられないと思います。そうでないと一階から三階まで直接上がってしまうので、改札口を通らなくても三階に行けてしまいます。

スロープは、やはり必要だろうと思っていましたが……。名古屋市にある中部運輸局主催のバリアフリー会議で、列車のドアが開いたら床下から自動でスロープが出てくれば、誰の手を煩わせず車いすの乗降が出来るとし、歩行困難な人、高齢者も同様に楽に乗降できると提案しています。

余談です。少し、脱線しますが、武勇伝を思い出しました。

平成19年、岐阜県から相談支援専門員指導者研修に、埼玉県所沢市の国立リハビリテーションセンターで開催された研修に派遣され、身内の家内ではなく、他人から介護サポートを受ける体験もしておこうと、知り合いのボランティアさんに頼んで泊まり込みの研修に参加してきた時のこと。

新幹線に乗るのも初めて、泊まりの予約入れた事、岐阜駅1階の旅行センターで切符を買えることも知らなかった人でした。当時勤めていた、岐阜市生活支援センターの職員からレクチャーを受け、切符を二人分買いに行きました。岐阜駅から、名古屋で新幹線に乗り換え東京で山手線に乗り換え、その後、所沢までの車いす席の確保等の切符を買うことができました。

研修を終えた帰りのハプニングでした。東京で山手線に乗り、新幹線に乗るため東京駅に着き。ドアが開いて、依頼していた、スロープを持った駅員さんが居ない!!。ボランティアさんもびっくり焦っていました。もうすぐ発射される!!。最悪。新幹線に乗れないことが頭をよぎり、イチカ、バチカ「飛び降りる!」と言って、目一杯バックして、トップスピードで、飛び出しジャンプ。以外とカッコよく着地。左を見ると向こうの方で、スロープを持った駅員さんがウロウロしている姿が、目に飛び込んできました。降車口を間違えて連絡受けたか、勘違いしたか…。声をかけるゆとりも無かったので、新幹線に乗るため、その場を離れたと言う体験でした。

本文に戻ります。

この話を聞き、個人的に駅を見に行ってみようと思いました。

6月27日に会議で岐阜市身障協会に行った帰り、北口広場のエレベーターで、デッキの上に上がり（このデッキ設置の、事前聞き取り会議に、亡くなられた前会長から依頼されて参加させて貰い、色々発言してきました。その結果、当初の計画が変

更されていますが、別の機会に書いてみようと思います。)、西回りでデッキを進み、駅内へ入ると。あれ？違う…右は、アクティブGからの階段通路で、階段昇降機(この昇降機の設置時にも立ち会っています。)正面は壁だったはずですが、ICカード用の改札口になっていました。



北口の改札口と中のエレベーターの表示板

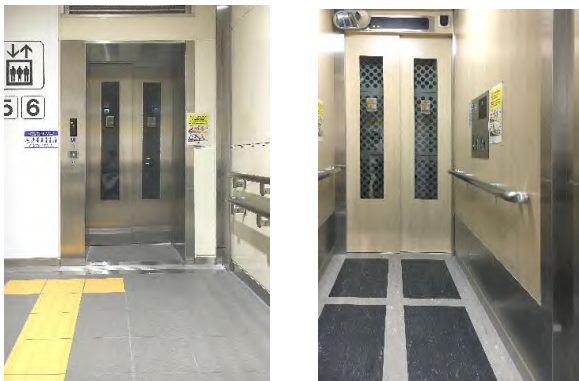
通路の構造も変更されていたので戸惑いながら元の改札口前の広場に行き、奥を覗いてみると、シートで囲まれた場所があり、これなのかなあ〜と思いながら、駅員さんの詰め所に近づくと、女性の駅員さんが、「列車に乗られますか。」と声をかけてくれました。

新しいエレベーターが設置されたと聞いて取材に来たことを伝えると、

「ここからは見えないのですが、見てみますか?。」

「入って良いんですか?!。是非お願いします。」

と依頼すると、詰め所の前を通してもらって中へ。床には、真新しい点字ブロックが目飛び込んできました。左に曲がると新品の手すりが、ピカピカしていました。3mほど進み左に、更に左曲がると、正面にエレベーターが奥にありました。印象として間口も駅に設置されているものより広く、しかも扉も高く見えました。さらにドアを開けて中を見せてもらいました。奥行が、かなり広くなっており、正面には、観音開きのドア。降りる時は、前が開き通り抜けるタイプのエレベーターでした。



設置されてエレベーター

写真を撮る許可を得て、スマホ構えよう

としても、頚椎の手術後、思うように動かなくなっているの、うまく支えられない事を見た駅員さんが支えてシャッターを切ってくれました。

丁寧に御礼を言って、帰ってきました。



設置されたエレベーターと工事中のエレベーター (CBCのニュース動画より)